

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立花園小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 ()

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0106

石川県金沢市今町又34

E-mail hanazono-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/hanazono-e/

幼児児童生徒数 男子 79 名 女子 73 名 合計 152 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

本校の子どもたちは、生活科及び総合的な学習の時間において、自分達のまわりの自然や伝統文化、いろいろな人々との出会い・ふれ合いにより、それぞれのよさに気づき、「人と自然」、「人と人との共存」、「人としての生き方」を学んでいる。この「ふるさと花園」から学んだ「つながり」を生かして、さまざまな課題に立ち向かい、解決していける人間の育成をめざしていきたい。また、それらの学びを発信することで学びを共有したり、自己の生き方につなげる意識を持たせたりしていきたい。各教科・領域において、つながり合いを大切にした学習を行い、学習内容や学習態度など、それぞれの学びを他の学習にも活用していくことで、思考力・判断力・表現力をつけていきたいと考える。

本校は、前述した目的を達成するために、学年毎にテーマを決めて学習活動を行った。第3学年は、「菊作り」について調べた。第4学年は、「花園めぐり」について調べた。第5学年は、「米作り」「金沢の食文化」について調べた。第6学年は、「八田與一」について調べた。

① 「人と自然」に係わる教育

「花園の菊探検隊」(第3学年)

そこで、自分たちが花園の菊について調べ、育てることによって花園の菊を知り、広めて、みんなに菊を好きになってもらうことを目標に学習を進めた。実際に菊作りを行う中で、栽培活動には摘芯・植え替え・消毒など様々な手間が必要なことを学んだ。また、地域の菊作り農家の方から出荷の様子を教えていただき、たくさんの手間をかけて菊を育て、出荷していることを学んだ。

この学習を通して、花園地区や地域の特産物である菊について多くのことを知り、愛着を深めることができた。

「レッツトライ 米作り」 「金沢の食文化を学ぼう」(第5学年)

地域の方々の協力を得て、手作業による田植えや稲刈り、昔の道具を使った脱穀作業などを体験した。これらの活動を通して、現在の米作りとの違い、昔の人の米作りの工夫や大変さを知ることができた。

栽培活動にご協力いただいた地域の方々をお招きして、収穫したお米や野菜を使った料理を作り感謝の気持ちを伝えるとともに、地域の方々との交流を深めることができた。

② 「人と人との共存」、「人としての生き方」に係わる学習

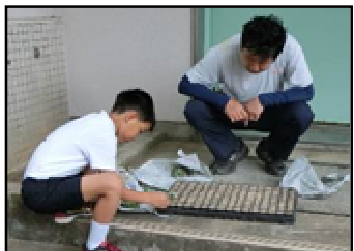
「花園めぐりのなぞをさぐろう」(第4学年)

花園地区には、「花園めぐり」という地域の民謡がある。それぞれの町のいわれや伝説、名所などが歌われている。地域の資料を読んだり地域のことをよく知っている方に聞いたりして、歌詞の意味を調べた。また、「花園めぐり」の良さを地域に発信するために「花園めぐり」の演奏にとりくんだ。演奏する技術だけではなく、礼儀作法などについても学ぶことができた。練習した成果を地域の方々に発表し、沢山のお褒めの言葉を頂いた。この学習を通して、地域への愛着や誇りを今まで以上にもつことができた。

「校区の偉人『八田與一』の学習と台湾との交流」(第6学年)

本校出身である金沢市の偉人「八田技師」について、台湾出身の方から烏山頭ダムができた後の生活の変化や当時の台湾の様子、八田技師の業績、台湾と日本の生活や気候などの違いについて話を聞いた。台湾人であっても日本人と区別なく、平等に接したことが周囲から尊敬される理由であることも知ることができた。

そして、八田技師が築いた台湾との絆を今後も大切にしようと、台湾の小学校と交流するために学校紹介や金沢市の名所などの紹介をビデオレターとして送った。文化の共通点や相違点を見出すことで、台湾の人たちに親しみを持つことができた。



「花園の菊探検隊」



「レッツトライ 米作り」



「『八田與一』の学習と台湾との交流」



「花園めぐりのなぞをさぐろう」

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・「花園に生きる」
- ・「かなざわ偉人物語」
- ・「こども金沢市史」
- ・「学習まんが 八田與一」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年間の指導計画にユネスコスクールの活動を絡めて明記した ESD カレンダーに沿って、様々な教科で触れることができるようになっている。
また、前年度に使用したワークシートを保管することで、次の学年を担当する教師がそれを吟味し、より効果的な学習をするために修正して使用することができるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学習したことを新聞やパワーポイントにまとめ、学期末や学年末に他学年にむけて発表する場を設定している。聞き手は、次年度の総合的な学習の見通しを持ったり、学習への意欲を高めたりすることができる。発表する側は、学習してきたことを他者へ伝える活動を通じて、学習内容への理解がいつそう深まるようにしている。

各学年で作った壁新聞は、廊下などに掲示し、いつでも他の学年が見ることができるように工夫している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

自分達の校区を誇りに思い、地域に愛着をもつことができた。そして、さらに校区のよさを広めようとしたり、課題についてもより深く考えたりすることができた。花園小校区には、総合的な学習に適した自然や特産物、偉人などの地域に根付いた学習素材、また、それらを教えてくださる地域の人達もたくさんおり、活きた知識を吸収できる環境にある。しかし、その一方で、資料や講師との打ち合わせなど教師が準備することも多く、結果として児童は受動的な学習態度になり、既存の学習内容から広がっていかない状況になっている。今後は、児童が主体的な活動を作り上げることができるように、考えていく必要がある。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

そして、八田技師が築いた台湾との絆を今後も大切にしようと、台湾の嘉南国民小学校と交流するために学校紹介や金沢市の名所などの紹介をビデオレターとして送った。また、自分たちで台湾について興味のあることを調べてまとめる活動をした。その中で文化の共通点や相違点を見出すことで、台湾の人たちに親しみを持つことができた。

また、地域の方々が参観してくださる日に音楽集会を開き、「花園めぐり」の演奏を披露したり、お世話になった農家の方がたと一緒に育てた野菜で収穫祭をしたりするなどの方法で発信している。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

花園めぐり保存会の高嶋氏に2ヶ月に渡って「花園めぐり」の演奏指導をしていただいた。演奏の技法以外にも、演奏に向かうときの心構えや人として大切にしていかなければならない礼儀などを教えて頂いた。演奏に使う太鼓などは花園地区の公民館からお借りした。また、運動会では「花園めぐり」の踊りを地域の方々と一緒に踊るために、同保存会の中川氏に指導していただいた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

姉妹校として毎年交流している台湾の嘉南国民小学校との絆を今後も大切にしようと、今年度は第6学年で「八田與一」について調べたことや、自分たちの学校を紹介したり、金沢の名所などを紹介したりするためにビデオレターを作成し送った。

台湾とは、学期制が違うため交流の際に時期的なズレが生じることがあるが、これからもその交流を続けていこうと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学習活動の中で、菊作り農家の方や花園めぐりを教えてくださる方々との交流をすることで子どもたちが地域に対して、より深い愛着を持てるようになった。また、地域の方々に向けて学習したことを発表する場を設定することで、子どもたちの姿を見に来られるようになり、学校と地域の結びつきが一層強まっている。

また、金沢市では一年間の総合的な学習のまとめを発表する場である「子どもサミット」が開かれる。学校の代表児童が一同に介して、他の学校に向けて、学習の成果を発表する。その後、サミットに出た児童が学校に戻り、会の様子を報告するという形を取っている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 1・2年 | 生活科を中心に身近な人や自然、ものを通して |
| 3年 | 「花園の菊探検隊」 菊作りを通して |
| 4年 | 「花園めぐりのなぞをさぐろう」
地域の民謡「花園めぐり」を通して |
| 5年 | 「レッツトライ！米作り」「金沢の食文化を学ぼう」 |
| 6年 | 「校区の偉人 八田與一について調べよう」 |